

BSSCにおける現役選手と途中退部者のモチベーションについて

嵯峨 惇也 (競技スポーツ学科 コーティングコース)
指導教員名, 北村 哲

キーワード:モチベーション, 途中退部者, 現役選手

1. 緒言

モチベーションとは、人の意欲(やる気)そのものを意味する言葉であり、それは人の行動に直接結びつく要素である。本学の硬式野球部には途中退部者が多い。一年で各学年含め 10 名ほどの退部者が発生するというのが現状である。途中退部者が多くなると、チームの雰囲気は悪くなりやすい。また、途中退部者が多いチームはチーム自体の方向性が定まらず、バラバラになる可能性が大きい。これらは、パフォーマンス向上を目指すチーム活動の妨げになる。

そこで本研究では、現役選手と途中退部者の野球に対するモチベーションにどのような違いがあるのかを明らかにするとともに、退部者の入部時から退部時までどのように変化するかを明らかにすることで、途中退部者のモチベーションの特徴を明らかにすることを目的とする。

2. 方法

1) 対象

本学硬式野球部に所属する 70 名と硬式野球部に所属していた途中退部者 25 名の計 95 名

2) 調査方法

モチベーションに関するアンケート調査。(人間関係, 競技意欲, 将来志向, 競技環境, 大学生活, 将来志向の 6 つの観点からなる全 44 問, 5 段階の回答)

3) 統計処理

得られたアンケート結果を集計し、現役選手と途中退部者について比較検討した。

3. 結果と考察

入学時の現役選手と退部者についてはあまり変化が見られないものの(図 1)、現役選手と退部者の退部時では現役選手の現在の方が高い傾向がある(図 2)。

退部者は現役選手に比べ人間関係が希薄な状況にありモチベーションの浮き沈みが

激しい傾向にあり周囲の環境にも依存しやすいと考えられる。退部者のモチベーションの変化は、野球活動に対しての目的意も薄れ、野球以外のその他の環境に対して興味が大きくなり、野球活動に対するモチベーションの維持が困難になるという特徴を持っていることが明らかになった。

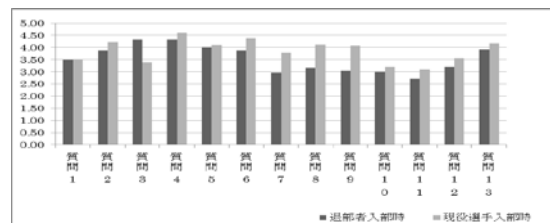


図1 現役選手入部時と退部者入部時

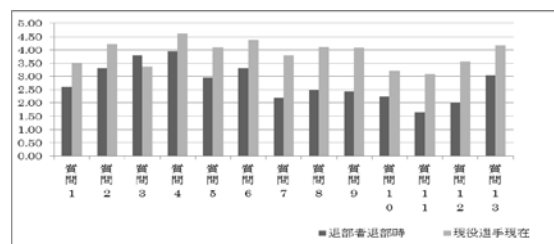


図2 現役選手の現在と退部者の退部時

4. 結果

退部者のモチベーションの変化については、人間関係も良好で、目標も明確であり将来のビジョンもしっかりと見据え、野球に対して集中できる環境もあるという状況から、退部時では何らかの形でコミュニケーションをとることが減り、野球活動に対しての目的意識も薄れ、野球以外のその他の環境に対して興味が大きくなり、野球活動に対するモチベーションの維持が困難になるという特徴を持っていることが明らかになった。

5. 引用・参考文献

山内弘継・橋本幸監修・岡市廣成・鈴木直人編 (2006) 心理学概論. ナカニシヤ出版: 京都.
美濃哲郎・大石史博 (2007) スタディガイド心理学. ナカニシヤ出版: 京都.